



フジ住宅株式会社
岸和田本社ビル 外観



堂島ビルディング
フジ住宅 企業広告看板



阪神高速1号
フジ住宅 企業広告看板



JR天王寺駅構内
フジ住宅 企業広告看板



阪神高速4号湾岸線
フジ住宅 企業広告看板



高島屋大阪店前
フジ住宅 企業広告看板



南海なんば駅構内
フジ住宅 企業広告看板



フジ住宅株式会社
大阪支社ビル 外観

フジ住宅株式会社

東証プライム市場（証券コード：8860）

2024年11月24日（日）

財務部長・経営企画部長・IR室長・人事室長
常務執行役員 野口 恭久



2024年オリコン顧客満足度®調査
建売住宅ビルダー近畿 第1位



2024年オリコン顧客満足度®調査
建売住宅ビルダー近畿 大阪府 第1位

会社概要

(2024年9月30日現在)

会社創業	1973年(昭和48年)1月22日
会社設立	1974年(昭和49年)4月19日
本社	大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
代表取締役社長	宮脇宣綱
資本金	48億7,206万円
従業員数	1,293名(パート社員を含む)(連結)
取引所	東京証券取引所 東証プライム市場
単元株式数	100株
子会社	フジ・アメニティサービス株式会社 雄健建設株式会社

事業内容

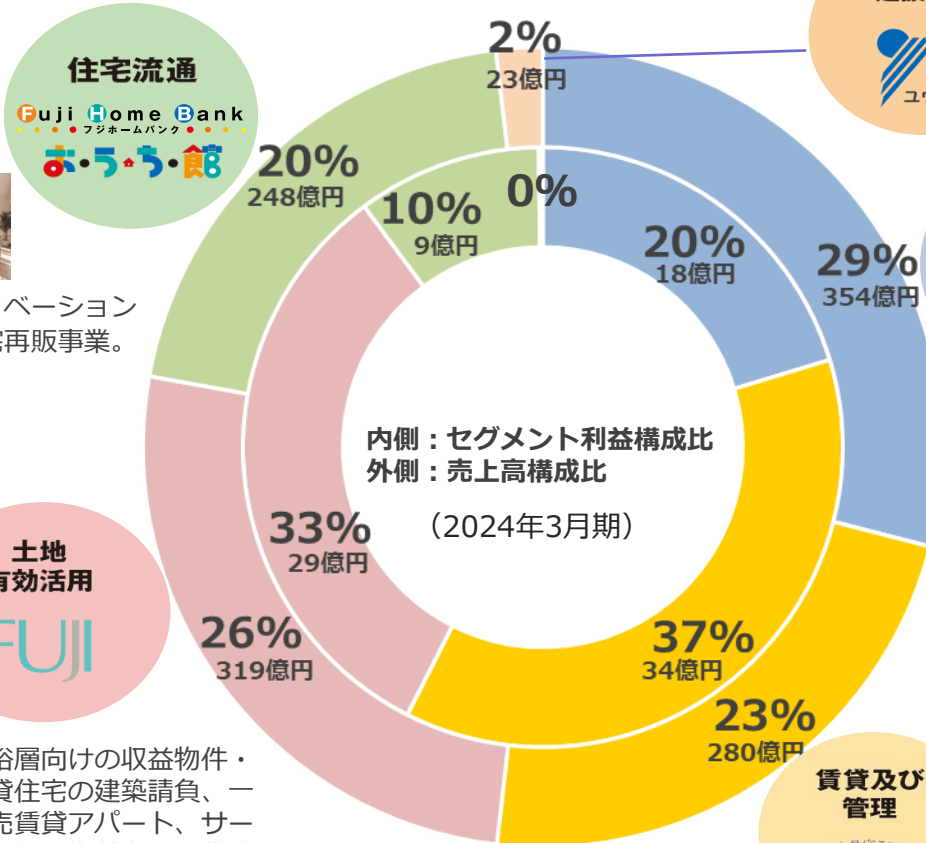
事業内容

各事業が独自のノウハウを持ち、他の事業部門を相互に補完するバランス経営。

〈売上高・セグメント利益構成比〉



中古住宅を買取後、リノベーションを施し販売する中古住宅再販事業。



建設関連

ユウケン

官公庁等からの鉄骨造、鉄筋コンクリート造の建築工事、土木工事、電気設備工事等の受託業務。土地有効活用事業の需要への対応を目指す。

分譲住宅

フジの家
あなたの住みたい家が見つかる
www.fuji-re.com

「街づくり」「自由設計」を特長とする50~200戸規模の新築戸建分譲住宅及び分譲マンション販売事業。

土地有効活用

富裕層向けの収益物件・賃貸住宅の建築請負、一棟売賃貸アパート、サービス付き高齢者向け住宅の販売事業。

賃貸及び管理

FASS
暮らしを見守る確かな力

土地有効活用とリンクした賃貸アパート、サービス付き高齢者向け住宅の賃貸管理及び分譲マンションの管理組合からの運営受託業務。



※ セグメント利益は間接部門経費を除いた連結調整前の各部門毎の営業利益の数値です。
※ 上記は報告セグメントをグラフにしたものです。

幸せはこぶ住まいづくり

【事業内容と2024年3月期の販売実績】

(単位：百万円)

		数量	売上高	事業内容
新築分譲セグメント	自由設計住宅	537戸	22,393	自由設計による新築戸建て分譲、及び新築分譲マンションの開発と販売
	分譲マンション	239戸	10,757	
	分譲宅地販売	67戸	1,890	
	素地販売	1,766㎡	420	
		843戸 1,766㎡	35,461	
流通セグメント	中古住宅（一戸建）	80戸	2,091	中古住宅（戸建、マンション）の買取、リノベ販売、買取再販のほか、居つき中古マンションを保有し、賃収を得つつ販売利益を得る「中古アセット事業」も展開
	中古住宅（マンション）	936戸	22,773	
	その他	－	15	
		1,016戸	24,881	
土地有効活用セグメント	建築請負	42件	4,769	賃貸アパート、サービス付き高齢者向け住宅の建築請負、及び、一棟売り賃貸アパートの開発と販売
	サービス付き高齢者向け住宅	17件	4,400	
	個人投資家向け一棟売り賃貸アパート	137棟	21,173	
		59件 137棟	30,342	
賃貸管理セグメント	賃貸料収入	－	20,308	当社分譲マンション、中古アセット物件の管理や、土地有効活用セグメントにて請負、販売した物件のサブリース、自社保有のサービス付き高齢者向け住宅の管理運営
	サービス付き高齢者向け住宅事業収入	－	6,738	
	管理手数料収入	－	979	
		－	28,027	
建築セグメント		119件	1,500	当社分譲マンション等S造物件の建築請負
その他		－	174	保険代理店事業
合計		1,859戸 1,766㎡ 178件 137棟	120,388	

バランス経営について

◆事業エリアを拡大しない理由



◆多くの不動産会社がM&Aの活用などにより事業エリアを拡大していますが…

①当社は創業来事業エリアは拡大せずに**地域密着経営**を貫いています。

②それは、「**当社の建てた家に住んで頂く方みなさんに幸せになって頂きたい**」という強い願いがあるためです。

③そのためには「**売りっぱなし、建てっぱなし**」には**絶対出来ませんので**、お客様から不具合等の連絡を頂いたら、すぐに駆け付けられるように、**事業エリアを本社、支社から1時間圏内**に限定しています。

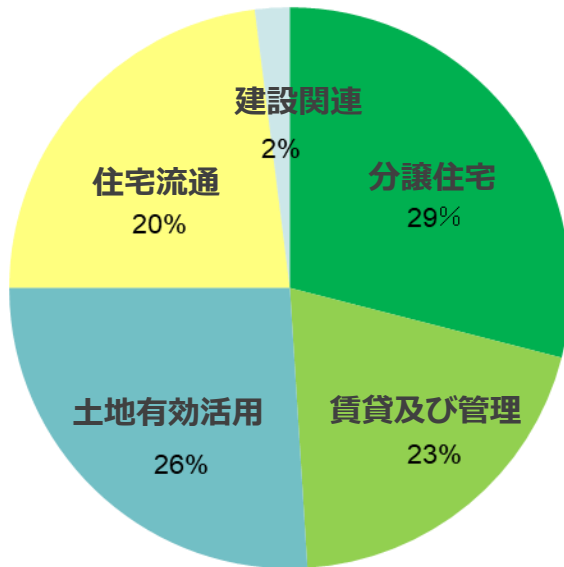


- ◆ その結果、限られた事業エリアの中で、バランスのとれた事業ポートフォリオが形成されました。

《バランス経営の強みと利点》

◎用地仕入の柔軟性、多様性

- ・ファミリー層、富裕層、投資家などの様々な取得目的に対し、50坪から数千坪まで、駅前から郊外まで木造から鉄骨鉄筋まで、多様な商品開発が可能。



◎変事抵抗カ

- ・景気や相場の変動があっても補完し合える関係性と、特にストックに重点を置くことによる安定度の高さ。

◆ 事業ポートフォリオは分散していますが...

①分譲住宅セグメントにおいて、大阪府の住宅着工棟数地域ビルダーランキングは…
17年連続でNo.1です。

※2005年度～2021年度 最新2023年2月発表
尚、2024年より認定制度は終了



②住宅流通セグメントにおいて、買取再販年間販売戸数は…
1016戸でランキングは全国8位(関西No.1)です。

※リフォーム産業新聞(2024年7月29日発行)の最新ランキング

サービス付き
高齢者向け住宅
運営棟数ランキング **全国No.1**

③土地有効活用セグメントにおいて、サービス付き高齢者向け住宅の運営棟数は**256棟で全国No.1**です。 ※2024年発表の最新ランキング

順位	事業者名	運営棟数
1	フジ・アムニティサービス	256
2	学研グループ	201
3	SOMPOケア	146
4	ヴァディー	121
5	NPO法人ラ・シャリテ	96
6	エクラシアHDグループ	86
7	やまねメディカル	78
8	パナソニック エイジフリー	61
9	創生会グループ	57
10	やさしい手	54

*2024年6月末時点の運営棟数

**各事業部それぞれが存在感を示しており、
高いマーケットシェアを獲得しています。**

幸せはこぶ住まいづくり

お客様に顔を向けた責任を負える住まいづくり

～顧客満足度の高さ～

「2024年 オリコン顧客満足度®調査」におきまして、当社が「2024年 オリコン顧客満足度®調査 建売住宅 ビルダール 近畿 第1位」「2024年 オリコン顧客満足度®調査 建売住宅 ビルダール 近畿 大阪府部門 第1位」を受賞し、4年連続でのダブル受賞となりました。
近畿では4年連続の総合No.1、大阪府では5年連続のNo.1となります。



2024年オリコン顧客満足度®調査 2024年オリコン顧客満足度®調査
建売住宅ビルダール近畿第1位 建売住宅ビルダール近畿大阪府第1位

～紹介率・リピート率の高さ～

《分譲住宅事業部門（新築）》

2024年3月期の分譲住宅事業部門（新築）では、受注契約の31.2%が、既に当社でご購入頂いたお客様や当社に関係する方からのご紹介によるものです。

2024年3月期（新築）	
ご紹介による成約数※1	282件
受注契約数	905件
割合	31.2%

《住宅流通事業部門（中古）》

2024年3月期の住宅流通事業部門（中古）では、仲介業者を介さず直接販売した物件の受注契約の30.9%が既に当社でご購入頂いたお客様や当社に関係する方からのご紹介によるものです。

2024年3月期（中古）	
ご紹介による成約数※2	38件
受注契約数	123件
割合	30.9%

《土地有効活用事業部門（一棟売賃貸アパート・建築請負）》

2024年3月期の土地有効活用事業部門では、一度ご購入頂いたオーナー様が更に2棟目・3棟目を契約されるリピート率が39.2%を占めております。

2024年3月期 （一棟売賃貸アパート・建築請負）	
リピート契約	74件
受注契約数※3	189件
割合	39.2%

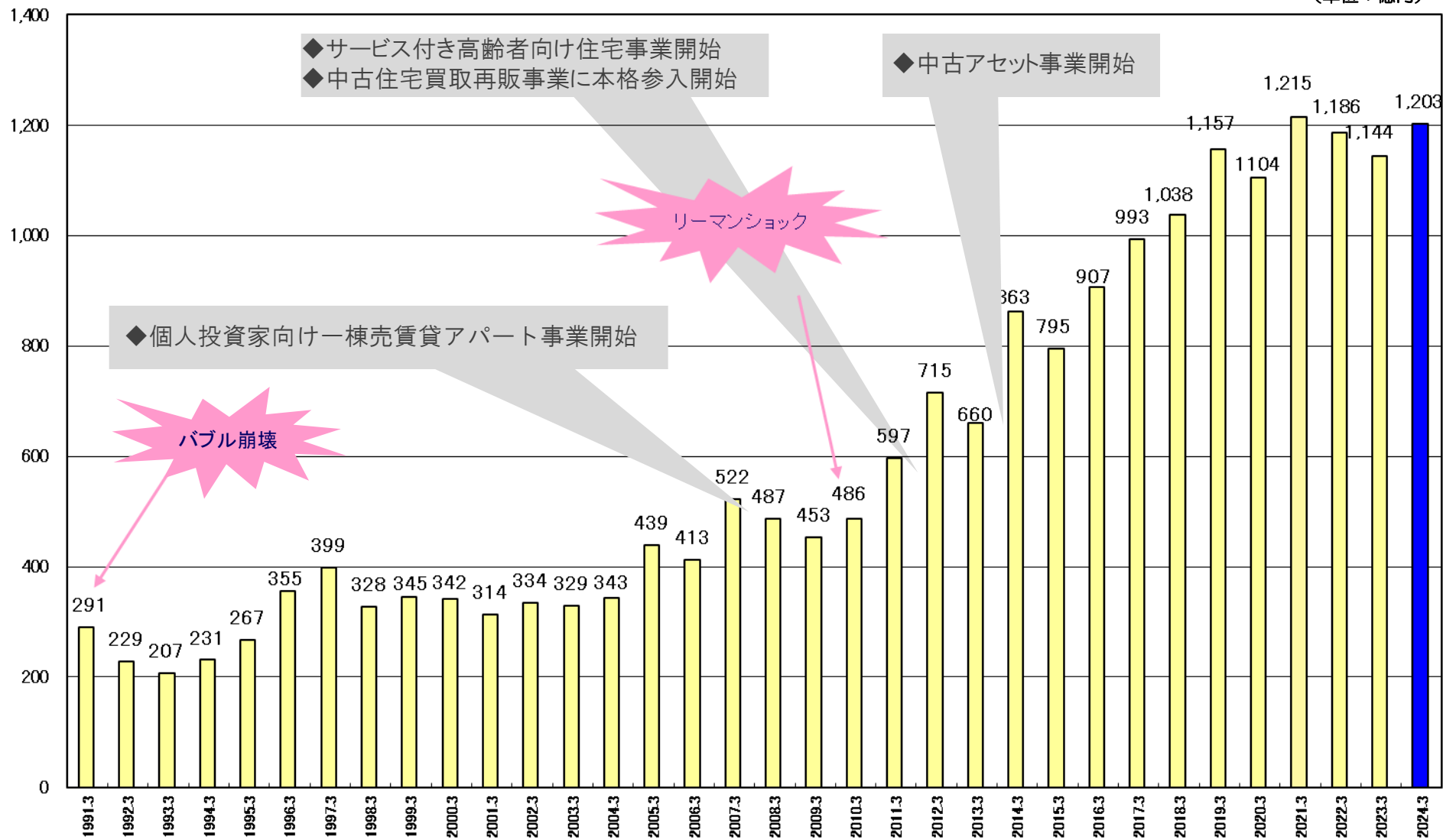
※1 分譲住宅（新築）のご紹介による成約数は、複数区画を同時購入頂いた場合、区画数に応じて加算集計しております。（素地販売は除く。）

※2 中古住宅は、仲介業者を介さず当社が直接販売したお客様のみを対象としております。

※3 受注契約数は、金融機関からの融資承認日を算定基準として集計しております。

売上高の推移(株式上場以降)

(単位：億円)

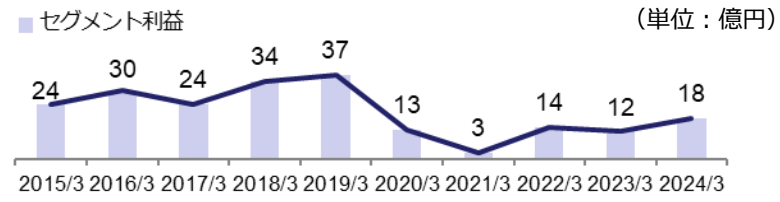
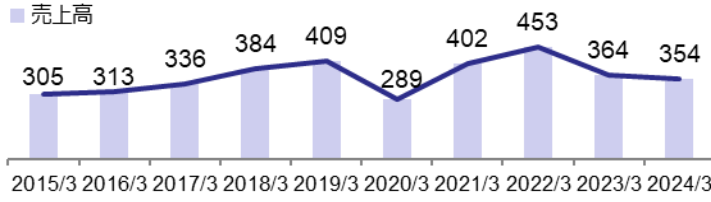


幸せはこぶ住まいづくり

セグメント別売上高・利益の直近10年間の推移

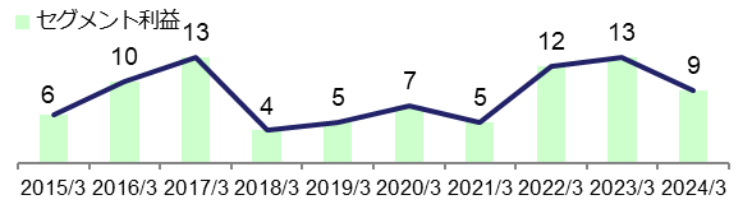
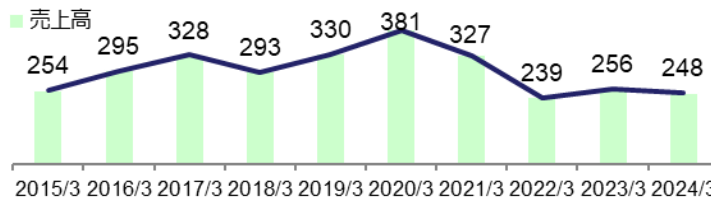
分譲住宅

フジの家
www.fuji-ie.com



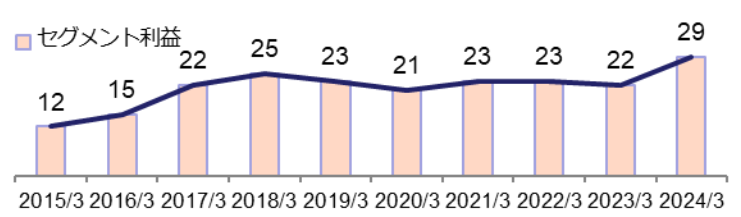
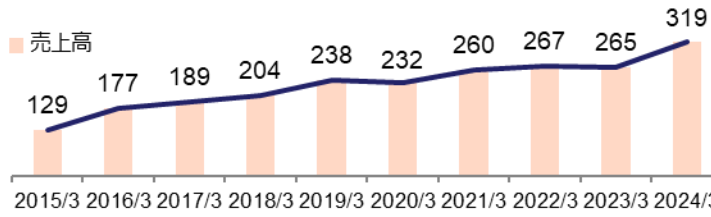
住宅流通

Fuji Home Bank
フジホームバンク
あ・ら・ち・館



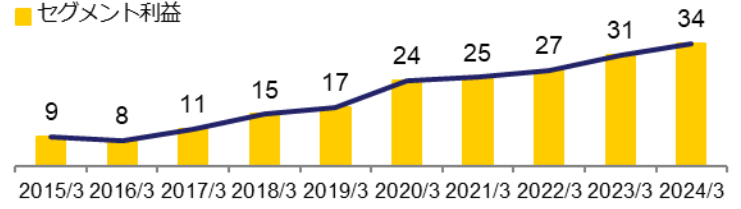
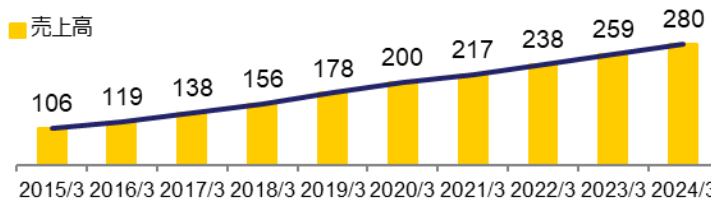
土地有効活用

FUJI

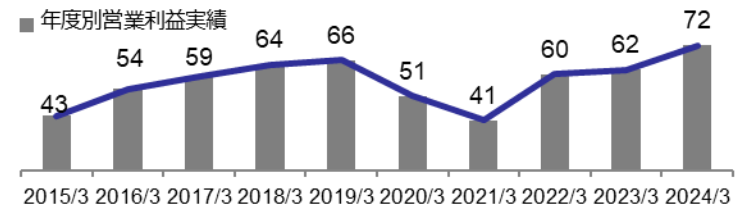
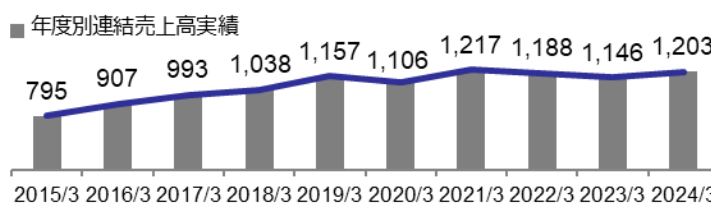


賃貸及び管理

EASS
暮らしを守る誰かのため



年度別連結合計※3



※1 建設関連は、2021年3月期より報告セグメントになっておりますが、2021年3月期以降の年度別連結合計に含めております。
 ※2 2020年3月期より保険代理店事業に係る収入を年度別連結合計に含めております。

※3 セグメント利益は間接部門経費を除いた連結調整前の各部門毎の営業利益の数値です。
 ※4 年度別連結合計は決算ベースでの表記となっており、各セグメントの合計値とは異なります。

幸せはこぶ住まいづくり

成長戦略

中長期的な事業の安定成長を目指したストック事業への取組み

当社のストック事業の賃貸料収入は、個人投資家向け一棟売賃貸アパート及びサービス付き高齢者向け住宅（以下「サ高住」）のサブリース事業を皮切りに、中古住宅アセット事業、サ高住自社保有事業と多角化を進め堅調に推移して参りました。

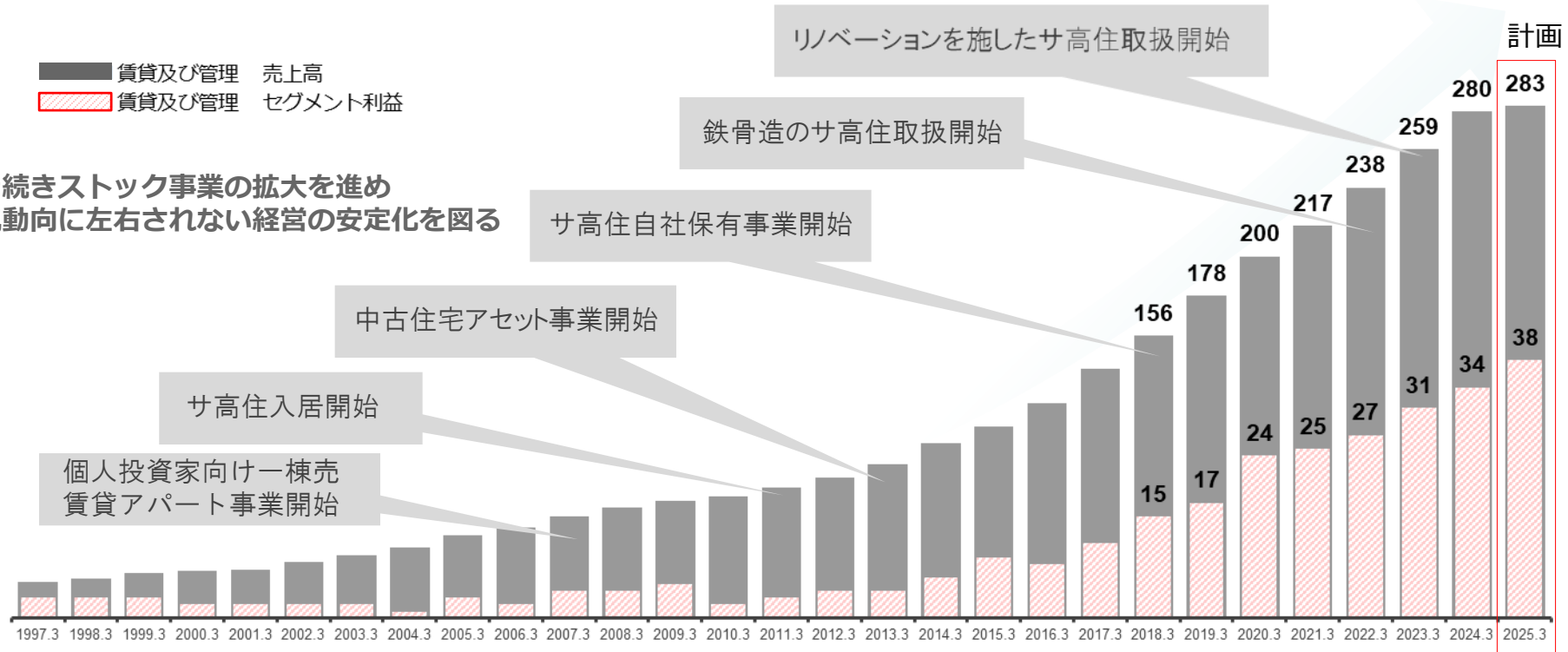
※ 2025年3月期は、2022年5月策定の中期経営計画の数値を記載しておりますので低い数値となっておりますが、実際は300億円に近い数値になる見通しです。

＜ストック事業の賃貸料収入推移＞

(単位：億円)

■ 賃貸及び管理 売上高
 ■ 賃貸及び管理 セグメント利益

引き続きストック事業の拡大を進め
 景気動向に左右されない経営の安定化を図る



当社の強み：経営理念

～事業の目的と手段の明確な棲み分け～

◆ 弊社の事業の目的は、**「社員のため、社員の家族のため、顧客・取引先のため、株主のため、地域社会のため、ひいては国家のために当社を経営する」**という経営理念のもと、「富士山」のように「日本一愛される会社になる」ことで、これは創業以来変わっていません。そして、売上や利益はその手段に過ぎず、決して経営理念に反した事業活動であってはならない、というものです。

◆ 経営理念の最初に**「社員のため、社員の家族のため」**とありますのは、社員とその家族がまず幸せでなければ、売りっぱなし、建てっぱなしにしない、お客様に顔を向けた責任の取れる住まいづくりは提供できないという考えからです。ですので、弊社では、社員が明るくイキイキと健康的に働けるよう、様々な独自の施策を取り入れております。

・ 社員全員が全役職員を評価する、文字通り**360℃の人事評価制度**

・ 社員の家族も受けられる、人間ドック並みの検査項目を擁する**定期健康診断**

・ 親孝行月間の設定と**親孝行資金の支給**、記念日の花束贈呈 など、

これらはそのごく一部ですが、健康経営優良法人（ホワイト500）の7年連続認定や、テレワーク先駆者総務大臣賞（2018）、テレワーク推進賞優秀賞（2020、2022）の受賞など、社員の健康推進や働き方改革への取組が評価されています。そしてまた、弊社の経営理念はすべてのステークホルダーに、偏りなく公平に報いることを目指しております。

◆ 身の丈をわきまえ、人財の成長に合わせて会社を成長させる、という考えのもと事業を営んでおりますので、急激な成長は望めないかもしれませんが、**安定的に成長し、絶対つぶれない会社**にすることが、長い目で見てすべてのステークホルダーの負託に応えることと考えております。

当社の強み：炭の家／ピュアエア

～健康に暮らす為に、室内の空気環境に徹底的にこだわるべき～

排気ガス等の空気環境汚染に加え、花粉、細菌、ウイルスが大きな問題になっております。これまで培った技術を集結し、徹底的に「空気」と「質」にこだわって生まれたのが当社の「炭の家／ピュアエア」です。

特許取得システム「炭の家」の使用権を当社グループ営業地域内で取得しており、他社との差別化や付加価値を見出す商品として安心出来る住まいを提供しております。

(お客様が実感された効果の一部ご紹介)

「炭の家/ピュアエアの概要」

「カーボンエアークリーンシステム」により屋外の空気をファンで強制的に取り入れ、「微小粒子用フィルター」で微小な有害物質をブロックします。さらに「炭」を床下に敷き詰め、そこに空気を通すという二重の対策を行うことでクリーンな空気を各部屋に供給しております。



健康効果

暮らしはどう変わりましたか？



消臭効果

「フジ住宅の炭の家／ピュアエア」にお住まいのお客様にアンケートデータ！



(参考) 詳しいご説明は以下からご確認いただけます。

<https://www.fuji-ie.com/kodawari/>

※「炭の家」に1年以上、お住まいのお客様にお聞きした内容を基に作成しております。

幸せはこぶ住まいづくり

当社の強み：住宅性能表示制度 最高等級取得項目

～ 建ててからの信頼こそ、住まいづくりの使命 ～

【住宅性能表示の等級項目】

5～6等級 ※2

断熱等性能等級

温熱環境・
エネルギー消費量

※最高等級は7等級です

最高等級

耐風等級

構造躯体の
倒壊等防止及び損傷防止

最高等級

耐震等級

構造躯体の倒壊等防止

最高等級

耐震等級

構造躯体の損傷防止

最高等級

ホルムアルデヒド
発散等級

最高等級

劣化対策等級

構造躯体等

生涯にわたり、高い満足感に包まれて暮らしていただける高品質な住まいを提供することが当社の使命であると考えております。

その1つとして、自由設計住宅の全邸で住宅性能評価書を取得しており、住宅性能表示制度の6つの各項目をトップレベルでクリアできる体制を整備しております。さらに、地震による揺れを低減させる制震システム「TRCダンパー」を導入し、壁の損壊や家具の転倒を防止する効果を高めております。

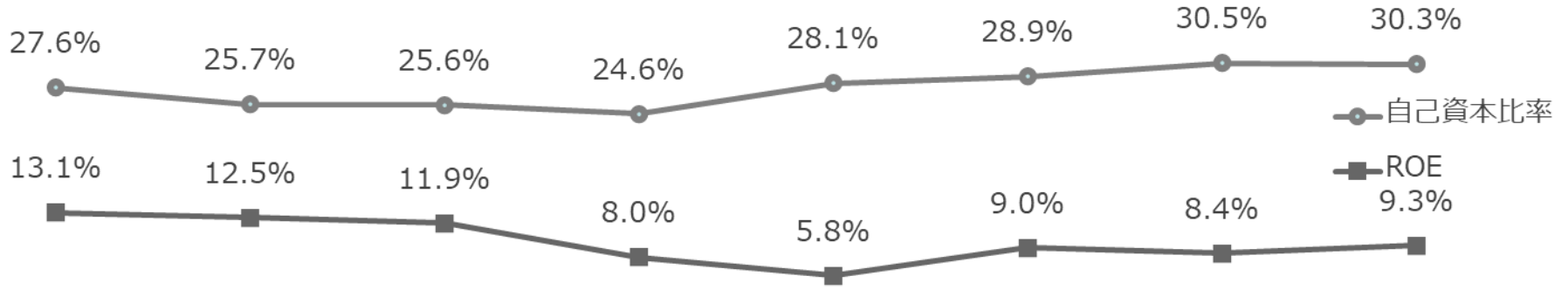
※1 上記記載内容につきましては、2024年3月31日時点のものとなります。

※2 当社では、断熱等性能等級はZEH基準である5等級を全邸クリアしており、6等級をクリアするレベルの品質及び施工技術を有しております。

幸せはこぶ住まいづくり


経営指標、配当について

経営指標（自己資本比率・ROE・ネットD/Eレシオ）

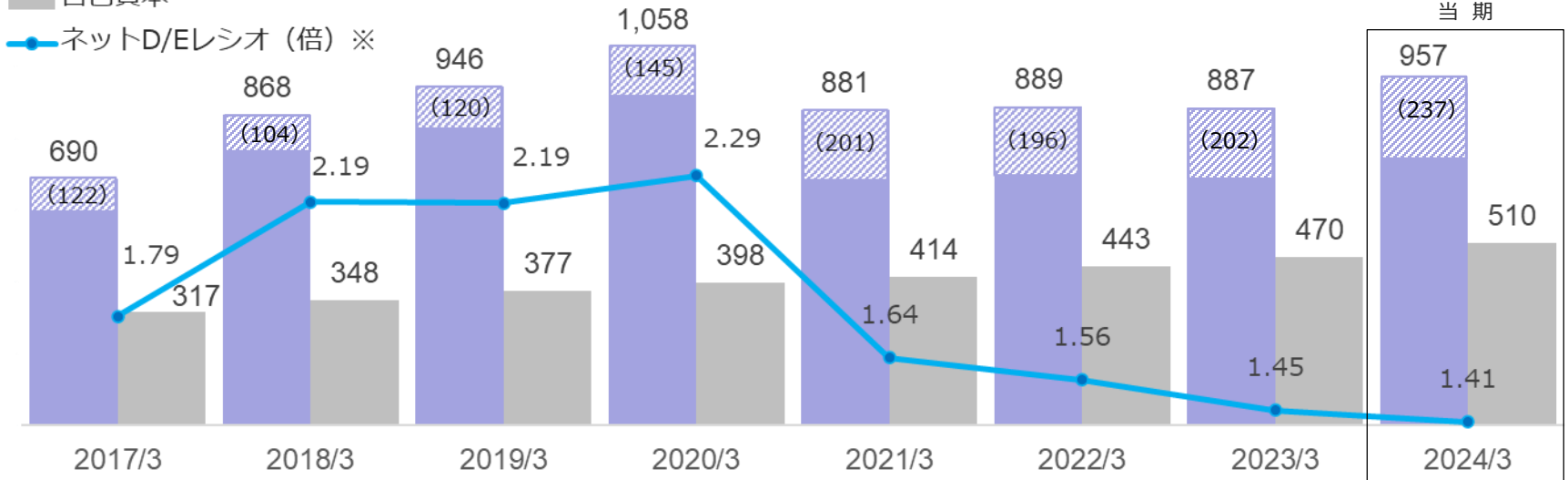


大型現場（戸建・マンション）の積極的仕入による在庫確保
 自社保有物件（サービス付き高齢者向け住宅）の積極的な取得

地価高騰による用地仕入の厳選
 販売価格の柔軟な対応による在庫水準の見直し
 （在庫回転率の向上）

有利子負債（ は現金及び現金同等物の期末残高に相当する額）
 自己資本
 ネットD/Eレシオ（倍）※

（単位：億円）
 当期



※ ネットD/Eレシオ（有利子負債-現金及び現金同等物の期末残高）÷自己資本

幸せはこぶ住まいづくり

配当金と株主優待

配当金

※2024年3月期の配当性向につきましては、期末配当金を16円（予定）、2025年3月期の配当性向につきましては、年間配当金を27円（予定）として算出しております。

	2021年 3月期 (連結)	2022年 3月期 (連結)	2023年 3月期 (連結)	2024年 3月期 (連結)	2025年 3月期予想 (連結)
1株当たり当期純利益 (円)	66.00	107.68	106.65	126.69	124.75
1株当たり配当金 (円)	27.00	27.00	27.00	30.00	27.00
うち1株当たり中間配当金 (円)	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
うち1株当たり期末配当金 (円) (うち、特別配当)	13.00	13.00	13.00	16.00 (3.00)	13.00
配当性向 (%)	40.9%	25.1%	25.3%	23.7%	21.6%

株主優待

※毎年3月31日時点の当社株主名簿に記載または記録された500株以上保有の株主様を対象とします。

基準日時点での保有株数	株主優待の内容
500株以上 1,000株未満	クオ・カード 1,000円分
1,000株以上 5,000株未満	JCBギフトカード 3,000円分
5,000株以上 10,000株未満	JCBギフトカード 4,000円分
10,000株以上	JCBギフトカード 5,000円分

過去配当利回りの推移

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期
期末株価	728円	900円	820円	514円	741円	617円	679円	774円
配当利回り	3.57%	3.00%	3.29%	5.25%	3.64%	4.37%	3.97%	3.32%

幸せはこぶ住まいづくり

業績

連結損益計算書

- ▶ 当期を含む直近5期の業績と通期業績予想に対する結果は以下の通りです。
- ▶ 過年度との比較において、売上高は、過去最高であった2021年3月期に次ぐ売上高となり、2021年3月期は兵庫県加古川市の大型分譲用地の素地販売約40億円が含まれていたことを考慮しますと実質的にそれを上回り、2023年2月に実施した給与のベースアップを主とした販売費及び一般管理費の増加はあったものの、収益性の改善により各段階利益についても過去最高益となり非常に順調に推移しました。
- ▶ 受注契約残高はコロナ禍で住宅特需のあった2021年3月期を上回る555億円に達し、期末の受注残高としては過去最高額となりました。

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期			対通期業績	
	実績	対売上高比	実績	対売上高比	実績	対売上高比	実績	対売上高比	実績	対売上高比	対前年増減率	通期業績予想	予想比
売上高	110,605	100.0%	121,719	100.0%	118,892	100.0%	114,669	100.0%	120,388	100.0%	+5.0%	120,000	100.3%
売上総利益	16,759	15.2%	16,031	13.2%	16,877	14.2%	17,146	15.0%	18,619	15.5%	+8.6%	-	-
販売費及び一般管理費	11,595	10.5%	11,866	9.7%	10,813	9.1%	10,859	9.5%	11,354	9.4%	+4.6%	-	-
営業利益	5,163	4.7%	4,164	3.4%	6,064	5.1%	6,286	5.5%	7,264	6.0%	+15.6%	6,400	113.5%
経常利益	4,611	4.2%	3,558	2.9%	5,627	4.7%	5,744	5.0%	6,643	5.5%	+15.7%	6,000	110.7%
当期純利益	3,088	2.8%	2,358	1.9%	3,869	3.3%	3,817	3.3%	4,559	3.8%	+19.4%	4,000	114.0%
受注契約残高	51,707	-	54,898	-	51,508	-	53,777	-	55,557	-	+3.3%	-	-

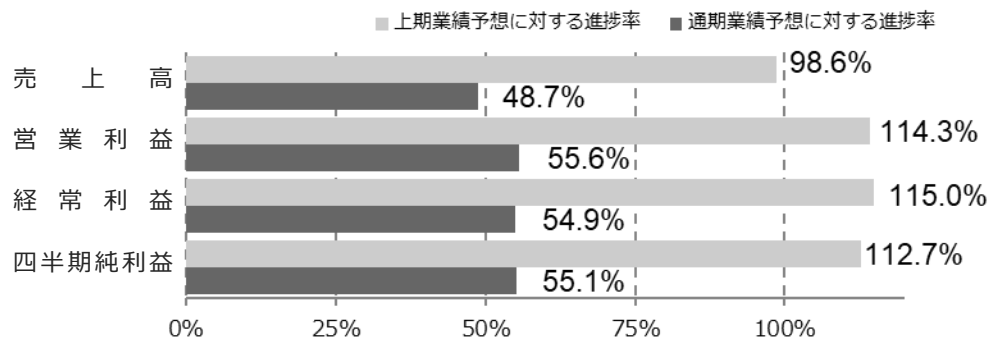
※従来、保険代理店事業に係る収入を「営業外収益」にて計上しておりましたが、当期より「売上高」に計上する表示方法の変更を行い、これに伴い、過去4期においても「売上高」に計上する組替を行っております。

今期連結業績予想に対する進捗状況

▶ 当第2四半期の連結業績は以下の通りとなり、上期業績予想、通期業績予想に対して順調に進捗しております。

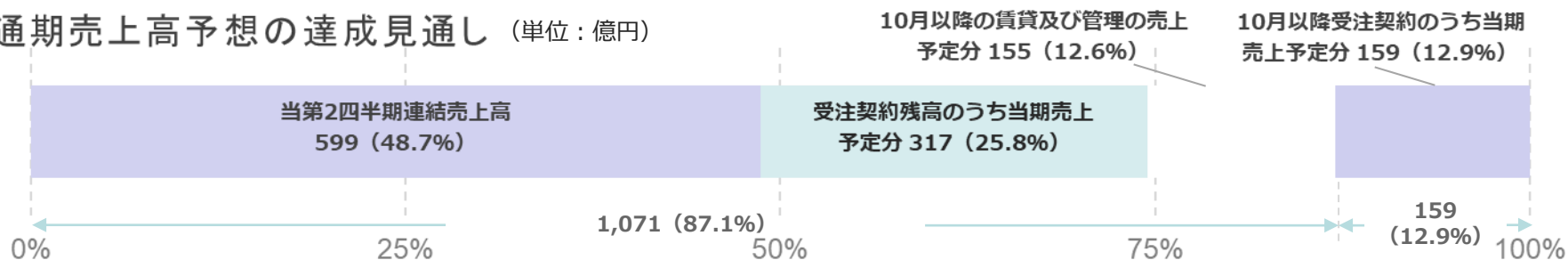
(単位：百万円)

	2025年3月期 上期実績	2025年3月期 上期業績予想 (2024/5/2公表)	上期業績予想 に対する進捗率	2025年3月期 通期業績予想 (2024/5/2公表)	通期業績予想 に対する進捗率
売上高	59,958	60,800	98.6%	123,000	48.7%
営業利益	4,115	3,600	114.3%	7,400	55.6%
経常利益	3,678	3,200	115.0%	6,700	54.9%
四半期純利益	2,478	2,200	112.7%	4,500	55.1%



※当社グループの主力事業であります不動産販売事業においては引渡基準を採用しており、例年、物件の引渡し時期が特定の四半期に偏重する傾向があります。

通期売上高予想の達成見通し (単位：億円)



- ▶ 上期業績予想に対して、上期売上高は599億円で進捗率98.6%と100%を若干下回りましたが、各段階利益は、進捗率100%を大きく上回っており、順調に推移しました。
- ▶ 通期業績予想の売上高1,230億円に対しては、当第2四半期売上高が599億円でしたので残りは631億円となります。受注契約残高の内、当期売上高計上予定が317億円、賃貸及び管理による売上高計上予定が155億円あり、合計472億円がほぼ確実に当期売上高に計上されます。達成まで159億円の売上高が必要となりますが、建売住宅、竣工済の分譲マンション及び中古住宅の販売、土地有効活用セグメントの建築請負工事の追加受注等により、十分達成可能と考えております。

幸せはこぶ住まいづくり

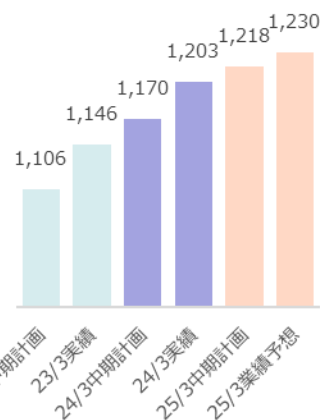
中期経営計画の進捗及び2025年3月期の連結業績予想について

(単位：百万円)

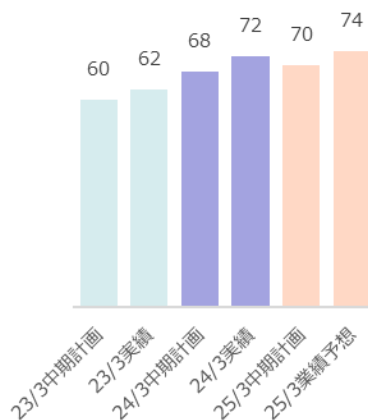
	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期	
	中期経営計画	実績	中期経営計画	実績	中期経営計画	連結業績予想
売上高	110,600	114,669	117,000	120,388	121,800	123,000
営業利益	6,000	6,286	6,800	7,264	7,000	7,400
経常利益	5,700	5,744	6,300	6,643	6,600	6,700
当期純利益	3,800	3,817	4,200	4,559	4,400	4,500
ROE	8.4%	8.4%	8.7%	9.3%	8.4%	-
自己資本比率	25%以上	30.5%	25%以上	30.3%	25%以上	-

(単位：億円)

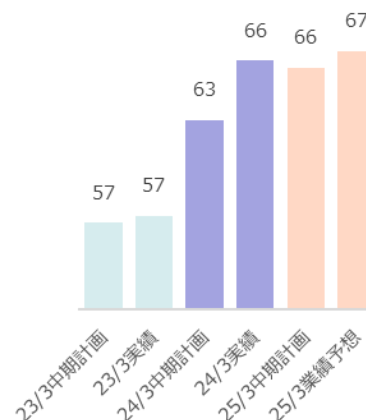
売上高



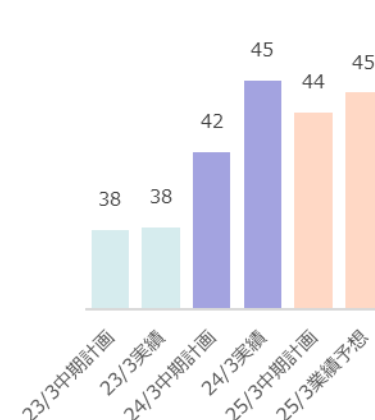
営業利益



経常利益



当期純利益



幸せはこぶ住まいづくり

資本コストや株価に関する当社の考え方

資本コストや株価に関する当社の考え方

当社は、事業を安定して継続し、経営理念にある通り、全てのステークホルダーに永続的に報いることを経営の目的としております。市況の変化に影響されやすく、財務レバレッジを効かせた事業運営が不可欠な不動産業にとっては、財務戦略は極めて重要であります。したがって、当社では、資本コストや株価を今まで以上に意識し、資産効率改善による財務の健全性向上と、成長分野への投資による収益性向上の両立を図り、同時に期待値の向上に向け、IR活動を今まで以上に充実させて参ります。

①現状

- ・2024年3月期のROEは、9.3%と資本コスト（※1）を上回っておりますが、PERが6.11倍と低く、PBR（※2）は0.56倍と1.0倍を割っております。
- ・ネットD/Eレシオは、低下傾向にあるものの、低減余地があります。
- ・配当金は、2018年3月期以降は利益に関わらず不変のため、配当性向はバラつきが生じているものの、総還元性向には留意しております。

②課題

- ・BPS（※3）増加率を上回る、EPS（※4）増加率を継続実現できるかどうか。
- ・投資家に向けて広く当社の堅実で安定したビジネスモデルの理解を深められるかどうか。
- ・財務健全性の維持と向上及び成長投資、配当政策の最適なバランスを確保できるかどうか。

③取組

- ・資本効率の高い土地有効活用事業と賃貸及び管理事業への投資を強化し、収益基盤の安定化と確実な成長を目指します。
- ・特に、運営棟数全国トップのサービス付き高齢者向け住宅は、当社の優位性が発揮できる事業であり、今後も進む高齢化社会のニーズにもマッチしていることから、注力事業と位置付けます。
- ・配当政策は、安定配当路線は継承しつつ、総還元性向に留意します。
- ・IR活動を活性化し、他社にはない当社独自のビジネスモデルの理解促進を行います。
- ・CCC（※5）を改善し、ネットD/Eレシオを更に低下させ、財務健全性を向上させます。

	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
ROE	8.0%	5.8%	9.0%	8.4%	9.3%
PER	5.88倍	11.23倍	5.73倍	6.37倍	6.11倍
PBR	0.47倍	0.66倍	0.51倍	0.53倍	0.56倍
自己資本比率	24.6%	28.1%	28.9%	30.5%	30.3%
ネットD/Eレシオ	2.29倍	1.64倍	1.56倍	1.45倍	1.41倍
配当性向	30.9%	40.9%	25.1%	25.3%	23.7%
総還元性向	30.9%	40.9%	25.1%	29.2%	23.7%

安定配当についての考え方をより明確に示すべく、2023年10月17日開催の取締役会において「累進的配当政策の導入」を決議し、プレスリリース致しました。

（ご参考：直近5年の決算期末時点）

※1 資本コストは、株主資本コスト

（リスクフリーレート+β値×市場リスクプレミアム）

※2 PBR（株価純資産倍率）（計算には自己株を含む）

※3 BPS（1株当たりの純資産）

※4 EPS（1株当たりの純利益）

※5 CCC（棚卸資産回転期間+売上債権回転期間-仕入債務回転期間）

幸せはこぶ住まいづくり

本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる可能性があります。